

# アイバンク情報

(財)富山県アイバンク

## 献眼がありました

去る3月10日、黒部市で急逝された47歳の女性から献眼がありました。ノンライオンの方でしたが、ご子息様からのお申し出により、黒部市民病院で献眼を受けました。葬儀には、当財団から岡本武勇常務理事と職員が参列し、高田眞理事長からのお礼の弔辞を代読しました。

- 1月からの献眼累計数は、1月 4名、2月 0名、3月 1名で計 5名、尊い御理解を頂きました。
- 〃 献眼登録者数は、1月 0名、2月 4名、3月 1名で計 5名、低迷しています。ご協力ください。

## 賛助会費・寄付金 (1/1～3/25現在、ご入金いただいた内容) ○有難うございました○

賛助会費 ・となみセントラルLC 法人会費として 10口 10万円  
 ・高岡伏木LC 個人会員 12口、法人会員 12口、計 15万6000円  
 寄付金 ・富山県ライオンズクラブ奉仕銀行 125万円  
 募金 ・入善LC 8, 158円、トヨックス(黒部LC) 2万7090円

## 東海北陸連絡会

去る3月7日、東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会が三重県で行なわれ、本県から、高田、本村、岡本、野村の各役員と事務局員が出席しました。会議には、愛知県など七県の役職員が出席し、アイバンクが抱える共通の問題や課題について話し合いました。本県アイバンクの『新・賛助会員制度』については各県の関心が高かった様です。ところで、「拘置所に収監中の方からの献眼登録が多いが、『情状酌量』の条件が本心だったり、また、学生の登録(ライオンズの献血会場での登録)があっても、親に叱られたとして後日の辞退が多い(崇高な精神を踏みにじる)」という愛知県の報告もありました。

## ライオンズ と アイバンク

....ライオンズにとって主要な奉仕活動の一つ....

●盲人・視力障害者への援助に関し、1925年、アメリカ オハイオ州セダーポイントにおける年次大会で、「ライオンズの皆さん、暗黒と闘っている盲人の騎士となってください！」と、ヘレンケラー女史が盲人のための援助を訴えました。ライオンズクラブは1930年には盲人のために「白い杖運動」を、1939年には「盲導犬」を、1940年代から「アイバンク設立」がライオンズクラブの支援によって行なわれました。その後も「視力ファースト」、引き続き「CSF キャンペーン・サイト・ファースト資金募金活動」が展開され、そして最近ではアイヘルス事業や四献運動などと、人道的奉仕活動を基本に展開されています。

....不離一体の活動の推進を図る....

●アイバンクの献眼登録・献眼(角膜(強膜)移植)活動は、ライオンズがモットーとする人道的で崇高な奉仕活動精神に基づくもので、ライオンズと『不離一体』で活動の推進を図っていくことが必要です。(お)

....アイバンク賛助会員募集....

●賛助会費 年1回 個人会員3000円/団体(法人)会員10000円 金融機関口座引落し契約。

●HP(<http://www.toyama-eyebank.com>)常時更新していますので、ぜひご覧下います様お願いします。